

魅せる兵庫

～地域と寄り添って～



「魅せる兵庫～地域と寄り添って～」は、兵庫県下の各地域の情報を支部ごとに発信していくコーナーです。各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元に寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ること、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。

芦屋・西宮支部

当支部は、平成17年11月1日に旧芦屋支部と旧西宮支部が統合、「芦屋・西宮支部」として発足し現在に至っており、会員数約590社です。支部長、副支部長4名、幹事25名の役員で支部運営を行っており、組織としては総務部をはじめとして8部体制。支部活動は、新年互礼会(毎年約300名が参加)、支部・地区旅行、ゴルフ等の親睦事業をはじめ、支部研修会の実施、芦屋、西宮市の市民相談、献血運動への協力、さくらまつり等の地域行事への協賛を行っています。空家対策、不動産コンサルティングデスク設置等、行政からの依頼にも対応し、会員サービスにも努めております。さらに、新たな展開として、昨年末のU50歳限定の忘年会には100名超の参加がありました。4月から青年部が創設され、今後も会員相互の交流、地域への協力を継続していきます。



新年互礼会



青年部 大忘年会

姫路支部

2月11日(日)
世界遺産姫路城マラソン2018
が、開催されました!

世界遺産姫路城マラソンは2015年に初めて開催され、世界遺産姫路城を始め、姫路の名所旧跡や自然を満喫できるコースとなっています。4回目となる今年の出走者数は11,460人(フルマラソン7,292人、ファンラン4,168人)、沿道応援者数は79,000人(公式サイトより)と、全国各地からの参加者で大賑わいでした。

また、未就学児から参加できるファンランもあり、ファミリーも楽しめる大会ですので、是非エントリーしてみてください。



但馬支部

但馬支部は、県全体面積の約1/4を占める地域で、中央を流れる円山川と支流、そして氷ノ山など自然いっぱいのエリアです。1300年の歴史をもつ城崎温泉、城下町の風情を残す出石城下町など、最近では外国人旅行者も増え、この6年で城崎温泉周辺に宿泊する外国人の旅行者の数は36倍に伸び、注目の温泉地となっています。一度は日本の空から姿を消したコウノトリが再び舞う街にするなど、自然豊かな郷づくりにも取り組んでいます。しかしながら、近年は人口減少で空き家が増え、全域で不動産価格は大きく下落、不動産市況には暗雲が立ちこめる中、自然を趣味にする方を空き家などに移住促進するよう、行政と共に日々励んでいます。



魅せる兵庫

～地域と寄り添って～

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元に寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



尼崎支部

尼崎支部では、地域貢献の一環として、支部や商工会議所、市役所や市民祭りにおきまして、無料相談会をおこなっております。

また、昨今特に問題視されています空き家対策として、平成30年5月18日、尼崎市における空き家等対策の推進に関する協定書を尼崎市長と締結致しました。

地域の活性化と期待されています「尼崎城」が今秋完成予定となっておりますが、支部でも少しばかりお役に立ちたいと、一口城主寄附をさせて頂きました。

いろいろなイベントも予定されていますので、また、尼崎の方へお越しください。



神戸中央支部

神戸中央支部は、都市機能と自然が調和する神戸リーディングエリアの支部組織です!

当支部は、幕末の兵庫開港、居留地区の整備により近代神戸として発展してきたフラワーロードを境にした西側の旧生田区エリアの『中央西支部』と、有数の規模を誇る港町、国内外の企業進出が進む『兵庫支部』、港町とは違う美しい風景や歴史ある有馬温泉などの一面を持つ『北支部』の3支部が平成16年に統合した神戸リーディングエリアの支部組織です。

4月現在で本店・支店を合わせて計524社の会員が属しています。また、新たに創設した青年部会を加えた9事業部では、限られた予算で企画した会員サービス事業を確実に実行し、また準備計画をしています。

中でも多くの「宅建試験合格者」を輩出する6月から10月まで開催する支部独自の専任講師との『宅建基礎講習』、『絶対合格ポイントゼミ』、1冊から販売のオリジナル契約書ファイルなどは大好評で、会員業務の支援、資質向上に努めています。その他、日常業務の情報交換につながる会員交流会、親睦旅行、新年交歓会など常に会員サービスの拡充を図っております。



淡路支部

淡路島は、周囲約203kmで琵琶湖とほぼ同じ面積を有し、島内は北から淡路市・洲本市・南あわじ市の3市に区分されています。古事記・日本書紀の記述によると、イザナギノミコト・イザナミノミコトの二神が日本列島中、最初に創造した島であるという「日本のはじまりの島」です。そんな「国生み神話」の島は、現在、人口はピーク時の4割減の13万2千人、高齢化も36%と、日本全体では2040年頃にやって来る超高齢化が、既にこの島には到来しています。そのような暗雲が立ちこめる中にあっても、年間1,300万人もの観光客がこの島を訪れ、「あわじタマネギ」に代表される、ブランド化に成功した農水産業も好調です。

当支部では、人口の減少、高齢化問題、空き家問題など、淡路島の不動産業界を取り巻く環境が大きく変化していく中、この環境の変化に対応するために関係機関と連携強化を図り、各種要望・提言活動を積極的に展開していきたいと思っております。



明石支部

明石は新快速で三ノ宮まで15分、大阪まで38分。さらに朝6時、西明石始発のぞみ100号に乗れば2時間53分で東京まで行ける!そのような都心へのアクセスが便利なおかげに、美しい海や夕日、明石海峡大橋が毎日見られ、トレトレの鯛、タコ、イカナゴをはじめとする魚、地元の野菜、地酒が豊富で、さらに2人目から保育費無料!10歳から中学3年まで医療費無料!こんな魅力が、近隣の人々を誘い、兵庫県下では明石だけが人口が増えています。

住まいを選ぶ際、親は通勤のこともさることながら子供の教育環境も非常に重要な要素として考えています。明石は兵庫女子師範学校があった当時から、教育には関心が深く、現在でもその歴史と文化は培われているようです。

魅せる兵庫

～地域と寄り添って～

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元へ寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



阪神北支部

阪神北支部は、伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町の3市1町で構成されており、芸術・文化・観光等が充実し、商業施設が整った都市部から、自然に囲まれた住宅地やニュータウンで形成された住みやすい環境地にあります。近年では、新名神高速道路の開通に伴い、川西・宝塚北スマートICの利用でアクセスが良くなり、今後の発展に期待しております。

支部活動は、研修会、親睦会等を実施し、会員相互の交流を図っております。空き家問題では、各行政と連携、協定の締結、消費者への市民相談、助成制度の情報提供で移住促進に努め、地域発展に貢献し、より良い街づくりに繋げて参りたいと思います。



神戸西支部

当支部は、長田区、須磨区、垂水区、西区が統合され須磨区に拠点を置き活動しています。

主な事業として会員相互間の親睦を深める為、毎年親睦旅行を実施。趣味を共有する場としてゴルフ、カラオケ等の同好会も結成しています。

当支部のエリアは休日には大勢の人数で賑わう垂水アウトレットや長田区内の鉄人28号。国宝である太山寺。その他にも活気ある観光場所が多々ございます。

我々会員に於きましてはさらに当エリアが発展、活性化するように地域に貢献して参ります。



北播磨支部

北播磨支部は、「三木市、小野市、加西市、西脇市、多可町」5市1町で構成されており、現在の会員数は、約160社です。

当地域は古くから金物、織物の産地として栄えてまいりました。また、酒米の山田錦の産地としても全国的に知られています。また、兵庫県の真ん中に位置し、神戸、明石、加古川、姫路に隣接し、中国道、山陽自動車道、国道175号線が通っています。

今、その利便性を活かして工業団地には大手企業が進出しています。住宅地は、商業施設が充実し、自然環境にも恵まれ、住みやすい環境にあります。

これら北播磨の良さをアピールし、行政と連携し、定住者を増やすことが課題のひとつです。お客様に安心していただけるような会員皆様へのサポートの充実に今後も努めてまいります。



佐用町空き家バンク協定締結調印式



西播磨支部

県南西部にある当支部は4市3町にまたがる自然豊かで広大な地域を管轄エリアとしています。当エリアは、北にキャンプ場やスキー場等の山々があり、南は瀬戸内海に面し、海水浴や潮干狩り、マリンスポーツで賑わい、それぞれの地域には、特徴ある祭や全国ブランドの特産品があります。

しかしながら、人口減少に伴う空き家が年々増加の一途をたどっており、空き家の解消や利活用が課題となっています。当支部では、各自自治体の空き家バンクの創設から関わり、物件審査や各自自治体空き家バンクのホームページでのPR方法、農村部で課題の農地取得の下限面積制限緩和の提言など各自自治体と協議を重ね、これまでに4市2町と媒介協定を締結し、実績も上がっています。来春には太子町とも同協定を予定しています。

また、8月に開設された、たつの市空き家相談センターの設立・運営に協力、今後も各自自治体や県民局、西播磨暮らしサポートセンター等と連携協力をし、地域の活性化のお手伝いをして参ります。



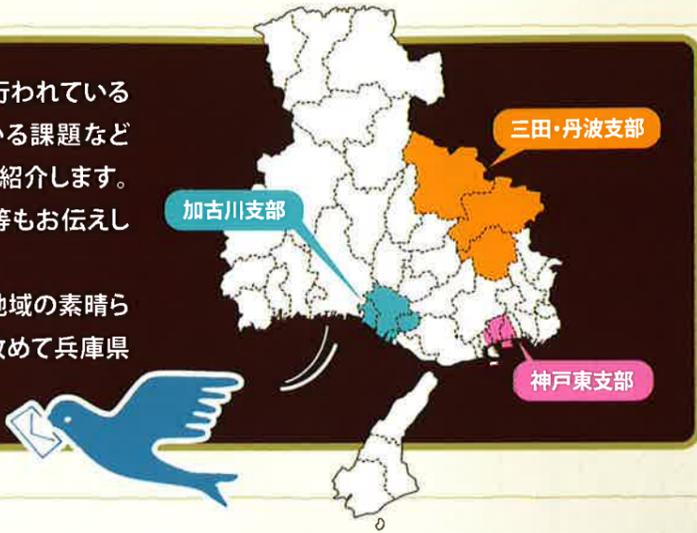
魅せる兵庫

～地域と寄り添って～



各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地域に寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。

みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



三田・丹波支部

三田・丹波支部は、県中東部に位置する三田・篠山・丹波の三市で構成しています。

近年、三田・篠山・丹波の各市と当支部との協力関係は欠かせないものとなってきました。行政から要請を受けた空き家対策に支部は、最も力を入れてきました。その中で、長年実施している不動産無料相談会が、空き家対策や移住政策の有効なツールになると行政に評価されてきたことを喜ばしく思っております。

さらに、企業誘致に関する提言や進出企業に提供する物件情報の開示にも協力しております。

空き家、人口減少、少子高齢化問題は地方が抱える喫緊な課題でありながら、官民間問わず有効な手立てを打ち出すことができない難問ばかりです。しかも、三市が抱える行政上の問題にも濃淡があります。しかしながら、当支部は今後も「地域に寄り添う」をテーマに、地域密着型の支部活動に取り組んで参ります。

三田牛・ぼたん鍋・黒豆etc.
おいしい冬の北摂・丹波路へぜひお越し下さい。



3月の支部研修会 (84名が参加)



9月の「宅建試験直前セミナー」熱血指導に合格を確信?



11月に篠山で開催の兵庫県高校駅伝大会 (兵庫宅建業協会が協賛!)



神戸東支部



当支部は神戸市東灘区・灘区と中央区の東エリアに拠点を置き、美しい六甲山系の山並みと神戸港とに挟まれた風光明媚な地で活動しております。

本年は神戸開港150周年を迎え、また兵庫宅建協会が特別協力する『六甲ミーツ・アート芸術散歩2018』も、当該地域にて開催されました。

当支部としましては、このような恵まれた地域環境を活かし、益々地域が発展するよう貢献して参ります。

加古川支部

加古川支部は、「加古川市、高砂市、播磨町、稲美町」の2市2町を管轄エリアとして、支部長、副支部長をはじめ、約370社の会員で活動しております。

支部活動としては、新年懇親会・親睦旅行等にて会員間の親睦を深め、パソコン教室や各種研修会等で知識を高める取組みも行っております。

また各地域で行なわれる加古川花火大会・高砂万灯祭・ロードレース大会等にも協賛し、地域との密着を大切にしています。

当支部エリアは一級河川加古川や高御位(たかみくら)等の豊かな自然を残し、商業施設も豊富な暮らしやすい地域です。各市町ともに家族向けのイベントやB級グルメもたくさんあるので、是非お立ち寄りください。



高砂神社秋祭り



平成30年度支部研修会



支部親睦旅行(長崎軍艦島)

魅せる兵庫

Vol.5

～地域と寄り添って～

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元で寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。

みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



淡路支部

淡路島は、古くより朝廷に数々の食材を献上してきた「御食国」として知られています。

古事記の仁徳天皇の項には「旦夕淡路島の寒水を酌みて、大御水献りき」とあり、毎日飲む水までもが、淡路島から朝廷に運ばれていました。淡路島の食材は、いわば朝廷からのお墨付きを頂いていたといえます。

そんな淡路島のブランド食材である、たまねぎ・鯛・サクラマス・わかめ・いかなど・メバルなどが、これからの季節、旬をむかえます。一度、ご賞味頂けましたら幸いです。

また、およそ500年の歴史があり、国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃や、日本の奇祭の一つでもある弁天祭りは、白装束の奉仕隊が白布に包まれた御神体を背負い、街中を練り歩く、独特な御神幸でも有名です。

当支部では、淡路三市と連携して、空き家対策事業に積極的に取り組み、空き家流通の促進に向けた活動が、「地域によりそう生活パートナー」として、新たなビジネスチャンスを創出していくことになると考えています。

そのためにも、要望活動を活発に行い、宅地建物取引業の適正な運営、健全な発展に努めて参ります。



淡路人形浄瑠璃



淡路島ブランド食材



弁天祭



尼崎支部

尼崎支部は、昨年、住宅ローン専門金融機関による「本当にすみやすい街大賞2018in関西」で、なんと1位に選ばれました。

正直なところ、驚かれた方や疑問に思われた方は多いと思いますが、20~30年前位から市街地にある大規模な工場の多くは、マンションや商業施設などに変わり、区画整理をされ、歩道や公園などが整備されています。大阪まで近くて利便性が非常に良いにもかかわらず、物価も安く、かざらなく生活が出来る素敵な街ではないでしょうか。

去る3月29日には、「尼崎城」が一般公開されました。ますます観光客が増えて、活気のある街に、足を運んでください。

明石支部

明石は、今年で市制施行100周年を迎え、明石城築城400周年にあたる年でもあります。市内では、明石伝統夢まつりをはじめ楽しいイベントを続々開催致します。

市制施行100周年記念事業のメインイベントとしては、2019年11月23日(土・祝)、24日(日)明石公園・明石市役所周辺にて「ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ」の全国大会を開催します。

ご当地グルメを楽しめたり、出展団体のパフォーマンスを楽しめたり、こどもエリアで遊べたりと、様々な年齢層の方々に楽しんでもらえる様な「さらにやさしい取り組み」を会場のあらゆるエリアで展開しています。この機会に是非明石へ足を運んでみてください。



明石城

ご当地グルメでまちおこしの祭典!
B-1 GRAND PRIX 11th **いざかしの祭典** 明石

176点の応募から市内の小学生13,000人による投票で選ばれた100周年のシンボルマーク

魅せる兵庫

～地域と寄り添って～

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地域に寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



令和元年5月1日現地取材
(広報担当 永井 撮影)

神戸東支部

神戸東支部は神戸市東灘区・灘区・中央区の東エリアを活動拠点として、平素より懇親会・勉強会等を開催し、会員間で交流を行っております。

地域の情報としては、本年5月1日には新天皇の即位を祝して、神戸・阪神間のだんじり45基が当支部管轄の東灘区岡本に集結し、『令和奉祝だんじり巡行』が盛大に行われました。

平成に次ぐ新たな時代の幕開けを祝しますとともに、当支部もこれから益々地域の発展と活性化に貢献して参ります。

姫路支部

黒い姫路城

～昭和から平成、そして令和を生き抜く姫路城～

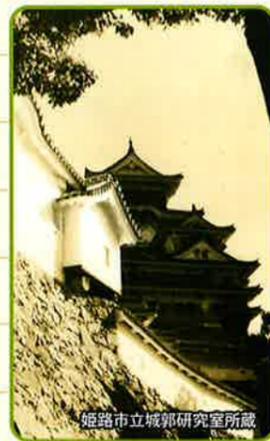
平成の大修理以降、年間200万人以上が訪れる、世界遺産「姫路城」。しかし、70数年前、姫路城が黒いネットで覆われた時があったそうです。

米軍からの爆撃に備えて、姫路市民がわら縄をコーラルで染めた偽装網を作り、それを天守閣や櫓、土堀までを覆ったのです。

それが功を奏し、「姫路城を守りたい」という姫路市民の熱い想いが通じたのでしょう。

天守から発見された焼夷弾が不発であったこと、軍機のレーダーが外堀の水面を池か湖と判断したこと等々、偶然に偶然が重なったことで奇跡的に破壊されずに済んだのです。

私たち姫路支部約530社は、姫路城を守り抜いた姫路市民と共に昭和から平成、そして令和への地域発展のための努力を惜まず、日々精進して参りたいと存じます。



姫路市立城郭研究所蔵



姫路市市史編集室蔵
(橋本政次コレクション)

このし字の部分をフックに利用して黒いネットを引っかけて覆いをしたと言います。

芦屋・西宮支部

兵庫県の南東部に位置する芦屋市・西宮市は、六甲山系から大阪湾を望む恵まれた地形と環境、古くより阪神間モダニズムという文化形成により発展してきました。住みたい街ランキングでは、その上位に位置するなど人気を博しております。

そんなエリアに存する我が支部では、青年部が前年の準備委員会を経て、平成30年6月に発足しました。50歳以下の会員と従業員の方で構成され、当地域を中心に不動産業界を盛り上げていこう!との目的でスタートしました。

昨年は、春に地元芦屋で行われるマラソン大会「芦屋ファンラン」、初夏には芦屋川～六甲山トレッキングに参加しました。秋には「残暑払いの宴」と題しての会食会、年末には芦屋「ホテル竹園」にて青年部大忘年会を開催しました。2回目となった大忘年会には、他支部(淡路・神戸・阪神北)の青年部の方々にもご参加いただき、100名を超える参加者となり、盛大に開催することができました。

今年もさらにパワーアップして、青年部らしい活動を行い会員の皆様との絆を深めて参ります。そして、他支部の皆様とも交流を広げ、芦屋・西宮支部から兵庫を盛り上げていきます!



青年部大忘年会集合写真



芦屋ファンラン参加
「そろそろ家買おう」のTシャツで



但馬支部

但馬支部は、県全体面積の約1/4を占める地域で、海、山、川と自然環境に恵まれた地域でもあります。会員は、100社で構成されています。

さて、昨今のマラソンブームで、県内各地でもさまざまなマラソンイベントが開催されていますが、毎年9月に行われる『村岡ダブルフルウルトラランニング』を紹介いたします。

これは、旧村岡町(現香美町)をほぼ一周するマラソンイベントで、100キロ、88キロ、66キロ、44キロの4つの距離があります。冒険家植村直己もこよなく愛したとされる蘓武岳の山頂付近から村岡市街地までを通るためそのコースの厳しさは全国でも屈指のウルトラマラソンですが、定員がわずか1日で埋まるほど人気があります。地元の方の温かい声援に支えられ、地域の方とのふれあいを求め、多くの方がリピーターになっています。

私たち但馬支部も、このようにお客様からいつまでも支持される存在になれるよう日々精進をかさねていきたいと考えております。



魅せる兵庫

～地域と寄り添って～

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元で寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



加古川支部

加古川の夏の風物詩といえば、お祭り。毎年7月から8月にかけて、市内のいたるところで様々なお祭りが行われます。中でも有名なのは、8月の第一土曜日・日曜日に開催される、夜市と花火大会。商店街や駅前ベルデモール全域で催される夜市は、楽器の演奏や、市内の飲食店、企業が色んな露店を出し、街を盛り上げます。そして日曜日は、約5,000発の花火が加古川の夜空を彩り、今年は約9万人の観客の感動を誘いました。また、同日には市民レガッタ大会も開催されます。加古川市漕艇センター前300mのコースを、多数のクルーが出漕する景色は圧巻です。

北播磨支部

北播磨支部は兵庫県の中央に位置する自然環境に恵まれた地域にあります。約50箇所のゴルフ場がある地域なので、北播磨と言えばゴルフ場というイメージの方もあるかもしれません。また、プレーされた会員の方も多いのではないかと思います。他にも北播磨では各地域で特色のある「祭り」が行われます。春の桜の季節には、加西市の「北条節句祭り」があります。屋台が街中を巡行し、宮入します。歴史と伝統があり、とても優雅な祭りです。秋には「三木の秋祭り」があります。大宮八幡宮において急な階段を屋台を担ぎ上げる様子は迫力があります。他にも加東市「佐保神社」や多可町「大歳金毘羅神社」など北播磨には地域の方がこれまで歴史を紡いできた「祭り」がたくさんあります。当支部約165社も未永くお客様から支持され、地域発展のための努力を惜まず、日々精進して参ります。



支部オリジナルファイル

神戸中央支部

神戸中央支部は「目に見えてきた神戸の将来像」と共により発展し会員が活躍できる会員組織を目指しています！

神戸市9区で一番広く豊かな自然と古い歴史の名所旧跡や歴史文化財が現存している【旧北支部】、奈良時代から良好な港をもつ兵庫のまちと知られ今日の神戸港発展の基礎を築き神戸市発祥の地である【旧兵庫支部】、そして神戸の玄関口である三宮エリア・観光拠点の旧居留地・北野町・ハーバーランドがある【旧中央西支部】の3支部が統合し「神戸中央支部」となり15年を迎えました。8月現在で本店479社・支店58社・合計537社の会員組織です。

支部会員の広範囲による営業活動とポテンシャルはとって大きくそのため、より魅力的な支部に、会員とその従業者の資質向上、会員相互の親睦および情報交流、並びに支部エリア地域と神戸市行政への貢献、会員サービスの拡充に努めています。

今年は1月に「神戸東支部」・「神戸西支部」のご協力のもとに3支部会員間の交流と親睦を深めるため、「神戸地区協議会主催」として参加者552名の『合同新年交歓会』の開催、支部独自の6月～10月まで続く『宅建取引士受験講座』の継続開催、オリジナル「契約書ファイル」の制作販売サービス、秋の親睦旅行、新入会員への『ビジネスフォローセミナー』など常に事業を企画し活動をしています。

三田・丹波支部

かつて城下町として栄え、なつかしい風景が残る街、三田・丹波篠山・丹波の歴史ある建物が生まれ変わり新しい風を発信します。



明治時代後期に建てられた町家が改修を経て、2019年5月に商業施設としてオープンしました。第三セクター「三田地域振興」が取り組む町家再生事業の最初の案件です。



大正時代に旧篠山町役場として竣工した西洋館。役場としての使用を終えた後、1993年から丹波篠山観光の拠点施設として活用されています。地域のコンバージョン建築の先駆けといえます。



もともと高等小学校だった建物を2015年にリニューアルした明治中期の洋館です。「お箸で食べられるフレンチ」がコンセプトのレストランが営業中です。

街歩きを楽しみ、滞在する人が増えるように、町家・商家等地域の資源を最大限に生かす取り組みが続きます。当支部も行政からの依頼を受けて、地域再生への協力を惜まず続けて参ります。



魅せる兵庫

Vol.8

～地域と寄り添って～

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元へ寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。

みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。

阪神北支部

阪神北支部は、伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町の3市1町で構成されており、現在の会員数は、約400社です。支部活動は、研修会、親睦会等を実施し、会員相互交流を深めております。

今回は、国民的清涼飲料水2品の意外な発祥地の御紹介を致します。1品目は、『三ツ矢サイダー』です。明治時代に川西市平野にて発見され、当時は大正天皇の御料品として献上されました。2品目は、『ウィルキンソン・タンサン』です。こちらも明治時代に宝塚市にて発見され、良質な鉱泉と言う事で、瓶詰、販売以来、約100年以上も愛され続ける炭酸水です。現在は、2品共にアサヒ飲料の製品として生産・販売されていますが、現在も各発祥の地にて記念跡が残っています。当支部も会員、地域の皆さまに愛され親しまれる存在でありますように努めて参りたいと思います。



神戸西支部

令和元年8月、当事務所が須磨区から長田区へ移転致しました。所在地はJR新長田駅南へ徒歩10分、再開発商業施設内2階で業務を行う事になりました。近隣には神戸市新長田庁舎が同時期に移転され、税務部門で県市共同窓口として新設されています。長田区は約24年前、阪神淡路大震災激震地として被害を受け、後に街が整備され現在変貌致しました。長田名物グルメでは、“ぼっかけ”別名すじこんとも言われ、牛すじと蒟蒻を醤油味噌で甘辛く煮た物や賄い食に焼きめしと麺をミックスした“そばめし”が有名とか。当支部もより一層関連機関と連携を図り、全区に於ける地域貢献の一助としてサポートして行きます。

西播磨支部

西播磨地域には様々な特産物がありますが、中でも素麺『揖保乃糸』は有名で、茹で伸びしにくく滑らかでコシがあり歯切れの良い食感があることが特徴で、今では種類も増え、帯の色で等級が分かれています。1年寝かせた「ひね」や素麺の端の「バチ」などは大変美味な逸品です。

赤穂の塩も歴史が深く、1600年代に製塩が始まり、1800年頃からは専売となり、やがて「日本第一」と評価されるまでになり、全国ブランドとなっている商品が多数あります。

この赤穂の塩と鉄分の少ない軟水である揖保川の水を使い、日本で最初に開発され作られたのが「淡口」醤油です。これを作ったのがたつの市にある醤油会社で、今や大変有名な会社となっています。

この外、有名な行事として、赤穂市では赤穂義士達が討ち入りを果たしたその偉業を称え、毎年12月14日に『赤穂義士祭』が開催され、義士行列など様々なパレードは多くの観客を魅了しています。また、相生市で毎年5月の最終日曜日に開催される『ペーロン祭』では熱いペーロン競漕が繰り広げられ、前夜祭として行われる花火大会は圧巻です。



魅せる兵庫

～地域と寄り添って～

Vol.9

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地域に寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。

みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



尼崎支部

▶支部概要

尼崎市は、住みたいまち・住みやすい街・穴場だと思われ、魅力ある市として知られるようになってきています。

それにもない人口も増加傾向にあり、これまで以上に、宅建業者として尼崎支部としての役割が重要になってきます。いままでの地域に根付いた支部、地域活性化に関連しての社会貢献を継承しながらハトマークの理念に基づく「会員業者と消費者の信頼と繁栄」を実践した支部運営を行っております。

▶活動状況

会員の交流を活性するために、新年互礼会、宅建納涼会、不動産フェア、宅建親睦旅行、夏休みファミリーBBQ大会、地区会、忘年会などを企画して、多くの会員の方に参加いただいたり会員のIT支援のためのパソコン教室や民法改正に伴うアップグレードのための研修会などの活動も行っております。

更に、尼崎市無料相談・支部不動産無料相談を定期



的に行っており消費者支援を通してハトマークを認知して頂いています。

そして、コロナの影響によるマスクや除菌スプレー不足の対策として、会員にマスク1箱(50枚)を無料配布するなどの支援も行いました。

また、継続して空き家対策に関する意見交換・打ち合わせ・相談会・講演会などの対応や税制改革及び土地住宅政策などに関する提言活動も行っております。

▶今後の抱負

緊急事態宣言などにより活動ができていない青年部の支援や女性幹事や若手育成などに力を入れていきつつベテラン会員と若い会員の交流支援も充実させていければと考えています。



神戸東支部

神戸東支部は神戸市東灘区、灘区、中央区東部(旧葺合区)で構成されており、現在の会員数は538社(令和2年4月1日時点)です。

当地域は日本を代表する酒どころの一つ、灘五郷(西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷の五つの総称)のうち西郷、御影郷、魚崎郷があります。

日本酒造りに適した上質の酒米(山田錦)とミネラル豊富な上質の宮水(地下水)が取れ、寒造りに最適な六甲おろしが吹き、そしてお酒の水上輸送に便利な港があったことから江戸時代以降、日本酒の名産地として栄えました。大手日本酒メーカーの多くがここを発祥の地及び本社としています。

日本酒をテーマにした施設・資料館(記念館)が多数あります。こちら方面にお越しの際は見学するのは如何でしょうか。

今年はコロナ騒動で色々大変な時期ですが、地域発展と活性化に貢献してまいります。



北播磨支部

北播磨地域は兵庫県のほぼ中央に位置しています。なかでも西脇市は「日本のへそ」といわれ、東経135度線、北緯35度線が交差する地点に位置し、近隣には自然豊かなアウトドア施設や初夏には蛍が乱舞する箇所もあり、リフレッシュに最適な所です。加東市、加西市、小野市、三木市は都市部、田園地域へのアクセスも非常に便利な地域で、季節ごとに多彩なイベントが行われています。代表的なものとしては夏に行われる「小野夏祭り」や秋に行われる「三木金物まつり」があります。期間中の来場者は15万人以上で、地域最大のイベントです。また、地域の特産品としては、酒米で有名な「山田錦」、「黒田庄牛」や西脇の「播州織物」、三木の「金物」、小野の「そろばん」などが有名ですが、お勧めは「播州ラーメン」をお勧めします。色々なお店がありますので自分に合ったお店を見つけてください。最後に北播磨支部では「地域になくはないお店づくり」の手助けを全力でサポートしてまいります。



播州ラーメン



黒田庄和牛丼

魅せる兵庫

～地域と寄り添って～

Vol.10



各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元で寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。

明石支部



明石支部は約250社の会員で活動しております。親睦旅行、研修会、同好会の活動などを実施し会員の交流を深めております。また、一般消費者に向けて不動産無料相談会、不動産フェアを開催しております。明石は、日本標準時となる東経135度子午線が通るまさに「時のまち」です。その象徴ともいえる子午線上に建つ天文科学館では、時について学ぶことができ、時にまつわる施設や設備が充実しています。また、宮本武蔵が明石の町割りをしたとも伝えられており、柿本人麻呂が残した石碑や紫式部が描いた源氏物語に登場する風景など市内には歴史上の人物にゆかりのある史跡が多く残されています。

当支部も、会員・地域の皆様に愛されるように努めてまいります。



淡路支部

支部の概要

淡路支部は、淡路市・洲本市・南あわじ市の3市を区域とし、会員106名で活動しています。

支部創設以来、一般消費者と支部会員の間に立ち、不動産取引が、迅速かつ公平・安全に行われることを目的としています。

活動状況

一般消費者を対象とした不動産無料相談会の実施。パソコン教室の開催。青年部会による勉強会や支部会員、従業員を対象とした関係法令の各種研修会を実施するなど、日々、複雑化する不動産取引に関する知識の向上に取り組んでいます。

また、空き家バンクにおける協定を淡路市・洲本市・南あわじ市と締結し、空き家対策や中古住宅の流通に協力しています。その他、関係団体との意見交換や連携を図るための事業を実施しています。

今後の抱負

淡路支部におきましては、これからも兵庫県、淡路市・洲本市・南あわじ市が実施する空き家対策事業に積極的に取り組んでまいります。このような空き家流通の促進に向けた活動が、交流人口を増加させ、それが、定住人口の増加に繋がるものと確信しています。

地域に密着した活動が、地域社会に貢献することになり、新たなビジネスチャンスを創出していくこととなります。

そのためにも、不動産流通の活性化を目的とした土地住宅政策や税制に関する要望活動を活発に行い、宅地建物取引業の適正な運営、健全な発展に努めてまいります。



大鳴門橋と渦潮

神戸中央支部



当支部は、幕末の兵庫開港、居留地区の整備により近代神戸として発展してきたフラワーロードを境に西側の旧生田エリアの『中央西支部』と、有数の規模を誇る港町、国内外の企業進出が進む『兵庫支部』、港町とは違う美しい風景や歴史ある有馬温泉などの一面を持つ『北支部』の3支部が平成16年に統合した神戸リーディングエリアの支部組織です。

令和2年8月現在で本店・支店を併せて529社の会員数になり、幹事役員28名、8事業部で構成運営しています。

支部会員の広範囲による営業活動とポテンシャルは大変高く、より魅力的な支部へと、会員と従業員の資質向上、会員相互の親睦および情報交流、並びに支部エリア地域と神戸市行政への貢献、会員サービスの拡充に日々努めています。

今年度は残念ながら、コロナウイルス感染症を鑑み、例年開催される『宅建基礎講習』、『絶対合格ポイントゼミ』また『宅建業者研修会』等、相次いで中止とさせて頂きましたが、今後はコロナの感染状況を考慮しつつ、会員の皆様へのご支援等も含め、役員一同、全力で取り組む所存でございます。

芦屋・西宮支部

芦屋市と西宮市は、明治から大正・昭和初期に発展し、中でも夙川カトリック教会や旧甲子園ホテル(現:武庫川学院)などは、今でも当時の歴史的建造物として、市民にも慕われています。

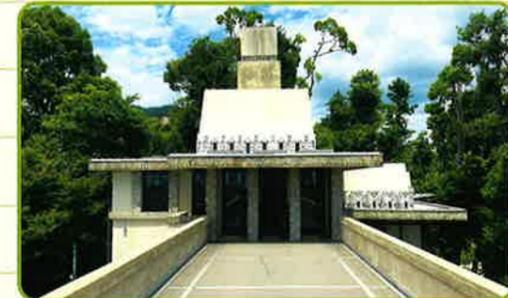
大正期、帝国ホテル建設のため来日していた近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトにより、「櫻正宗」で有名な灘の酒造家・八代目山邑太左衛門氏の別邸として設計された建物(現:ヨドコウ迎賓館)が、阪急芦屋川駅より山手に10分ほど歩いたところにあります。

1974年に国の重要文化財に指定され、1989年から一般公開されました。芦屋川から望む南斜面に沿うように建てられた外観、彫刻を施した大谷石、マホガニーの複雑な木組や銅板の飾り金具などにライトの建築の特徴を見ることが出来ます。



2019年にライトが設計した米国の8作品が「フランク・ロイド・ライトの20世紀建築群」としてユネスコ世界文化遺産に登録され、ヨドコウ迎賓館も将来の追加登録を目指す作品のひとつに挙げられています。

関西の高級住宅地としての芦屋市・西宮市の礎のような建築物であり、当支部も行政や市民に寄り添って今後の芦屋市・西宮市の街づくりや地域の発展に貢献してまいります。



魅せる兵庫

～地域と寄り添って～



各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地域に寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ることで、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



阪神北支部

阪神北支部は、兵庫県の東部に位置し、伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町の3市1町の約420社の会員が所属しています。現在、支部役員に幹事12名が在籍し、内女性5名が活躍しています。本部役員の仕事へも女性2名が属し、これからの時代を女性目線で新鮮な意見交換を望みます。新しく移転開業された『宝塚ホテル』にて女性幹事の集合写真を撮影しました。しなやかな活躍を御期待ください。



地域の話では、昨年に伊丹市にて日本酒の『伊丹諸白』が日本遺産に認定されました。現在も日本最古の酒蔵(旧岡田家住宅・国指定重要文化財)が現存しています。清酒発祥の地として全国海外へと知られ、日本酒が多くの皆さまに親しまれる事を願っております。

加古川支部

加古川支部は、「加古川市・高砂市・播磨町・稲美町」の2市2町の約372名の会員で活動しています。

なかでも稲美町は、町政施行65周年を迎えました。稲美町は、「万葉集」に詠まれた「いなみ野」に位置し、88ヶ所のため池群と田園が広がる緑豊かな美しい自然にかこまれ、名前のとおり稲穂をはじめとした農作物が実る美しいまちです。

元号改元の際には、「令和」の典拠となった万葉集の歌碑が「いなみ野万葉の森」にあったことから、歌碑を見ようと連日多くの人々が訪れ、記念の石碑も建てられました。

休日になると、県内最大のため池である「加古大池」でウインドサーフィンを楽しむ人、県内最古のため池である「天満大池」でバーベキューを楽しむ人、ため池に整備された遊歩道で野鳥観察をする人など、ため池はまちの憩いの場となっています。

新型コロナウイルスの影響を受け、開催が見送られましたが、稲美町の天満神社秋祭りでは、神輿を天満大池に投げ入れ、ため池の中で担ぎ手がみこしをねる「みこし渡御」が圧巻です。

是非一度、稲美町へもお立ち寄りください。



但馬支部

兵庫県北部に位置する「新温泉町」は人口14,000人程の小さな町ですが、山と海に囲まれ、町名の通り【湯村温泉】【七釜温泉】【浜坂温泉】と、天然の源泉が3か所もある温泉文化が根付いた町です。最近では「温泉天国」として、町が一丸となって大きくPR活動を進めています。加えて、ユネスコ世界ジオパークである山陰海岸の但馬御火浦・浜坂海岸は、多くの奇岩と風光明媚な青い海が広がり、磯釣りのメッカでもあります。また、県下有数の積雪地域でもあり、毎年県内外から多くのスキー客で賑わいます。



四季折々の豊かな自然で育つ子供たちはみんな素直で元気いっぱいです。その秘訣のひとつが、なんといっても美味しいグルメです。年明けのホタルイカから始まり、春はハタハタ、夏はするめイカ、秋は二十世紀梨、冬には松葉菜が食卓を彩ります。とりわけ一年を通して、国産牛の原種である「但馬牛」は誰もが知る最高級の和牛です。



このような自然環境に恵まれていても、少子高齢化の波は避けられません。今後、地域の担い手を増やすため、行政と連携して、移住者促進、Uターン者への安心安全な住まいの提供活動、空地空家の積極的斡旋等、不動産に携わるプロとして様々な提案や相談会、意見交換会などの取組を行ってまいります。会員一丸となって、地域活性化活動を行ってまいります。

神戸西支部

須磨区は神戸西支部において長田区の西隣に位置しています。海岸線の西の端は、源平一ノ谷の合戦で知られている平敦盛を供養する敦盛塚が建てられています。

さらに東へ行くとJR須磨駅の南に砂浜の長さ約1.8kmある阪神間最大の須磨海水浴場が広がり、ビーチフェスタと銘打って、ビーチバレー・ビーチラグビーやステージイベント・グルメの祭典等の催しも賑わいました。

夏場は例年他府県からたくさんの方が来られ賑わいますが、去年は新型コロナの影響で、海水浴場は閉鎖となり、例年のような活気はなく寂しい限りとなりました。

また、須磨海水浴場の東端に皆様もよくご存じの須磨海浜水族園があります。

須磨海浜水族園は、2021年3月末から大規模な再整備が始まり、建物は解体され、2024年3月末にシャチのいる水族館・全室オーシャンビューのイルカとふれあえる日本初のホテルが開業するそうです。新型コロナの影響で暗くなりがちの昨今ですが、ちょっと明るく楽しみな話題です。

皆さまも完成の暁にはぜひ一度お訪ねください。



魅せる兵庫

～地域と寄り添って～

Vol.12

「魅せる兵庫～地域と寄り添って～」は、兵庫県下の各地域の情報を支部ごとに発信していくコーナーです。

各支部がピックアップした、地域で行われているイベントやお祭り他、地域の抱えている課題などさまざまな地元に寄り添った情報をご紹介します。さらには支部が取り組んでいる事業等もお伝えしていきます。みなさまが所属される支部以外の地域の素晴らしさや現状の取り組みを知ること、改めて兵庫県の魅力を感じて頂ければと思います。



三田・丹波支部

大阪から福知山線に乗ると宝塚から急に最低標高116mの高地の田園公園都市の三田まで勾配を昇ることになります。三田駅から京都府の福知山駅手前の丹波竹田駅までの17駅の車窓がすべて支部の範囲で途中の谷川駅では加古川線とも合流します。また、石生(いそう)駅は瀬戸内海側と日本海側の分水嶺の地となります。高速道路では中国道神戸三田IC～舞鶴自動車道春日IC・北近畿豊岡自動車道青垣ICがその動脈路になります。その大部分は山林と農地で所謂、宅建業法外の世界だが、都市機能の住宅部分や住・工場・流通用地混在地を生業として支部の会員が腕を振るっています。

三田市は人口11万人強で、丹波篠山市は人口4万人強、丹波市は人口6.5万人強でそれぞれの特色の文化と歴史を育んで時代のニーズに沿って歩んでいます。

最近のリモートワークとか田舎暮らしのTV番組にも取り上げられていますが、生活インフラや村入り・自治会のしきたりとか、農水・農道等、三田ニュータウン以外は京阪神の都市住民の知見と違うので宅地建物取引士の知識を超えた不動産重要事項説明書外の補足説明を要求される時代になりつつあります。地域の特色を熟知した支部の本領・存在価値が今後も試されているとも言えます。



丹波篠山市



丹波市役所



三田市



©姫路市

姫路支部

新型コロナウイルス感染症により環境の変化や先の見えない状況が続く、新しい生活様式に不自由さを感じる事も多い毎日です。不自由な生活の日々だからこそ、前向きに未来を創造するきっかけになるように、昨年12月、世界遺産「姫路城」では「姫路城フォーシーズンファンタジア hitotose(ひととせ)」が開催されました。およそ145,000個のLED電球やバルーン、壮大な音楽やAR(拡張現実)動画などを使って、四季の移ろいを鮮やかなイルミネーションで表現し、夜の帳にライトアップされた姫路城、

そして三の丸広場にも幻想的な空間が浮かび上がり、見る者の心に希望を与えてくれました。

また、姫路観光コンベンションビューローではコロナ収束後に向け姫路の魅力をYouTubeで公開中。ミルクボーイの漫才で笑いながら姫路観光を計画し、自粛生活の楽しみの一つにはいかがでしょう。

我々会員におきましてこの様な温故知新を取り入れ、さらに姫路支部が発展する様に貢献して参ります。

西播磨支部

前回は引き続き、西播磨地域の御紹介をいたします。

まずは佐用町です。「宿場町平福」は利伸城の城下町として整備されたのち、因幡街道随一の宿場町として栄えました。佐用川沿いの土蔵群は、往時の面影を今に伝えています。また夏には「南光ひまわり畑」として合計約十万本のひまわりが開花。その壮大な景色に元気をもらえます。戦後生まれた「ホルモン焼きうどん」は、つけダレで食べる独自のスタイル。一度食べるとやみつきになるご当地グルメです。

続いては太子町です。有名な斑鳩寺は、聖徳太子が推古天皇より賜った播磨国の水田を法隆寺に寄進、後にこの地が法隆寺の荘園へと発展し、その中心に荘園経営の中核的存在として政所とともに建立されたと言われていいます。荘厳なたたずまいの「三重塔」は国の重要文化財にも指定されています。また播磨地方はマッチ製造に於いて国内生産量の約9割を占めており、その一部は太子町で長年にわたり生産されています。近年では香り付きのマッチも販売されています。



宿場町平福



南光ひまわり畑



斑鳩寺三重塔